

2021年3月期第2四半期 決算説明資料

2020年12月1日
株式会社エヌ・シー・エヌ

- 1. 会社概要・事業概要**
- 2. 業績ハイライト**
- 3. 2021年3月期 連結業績見通し**
- 4. 2020年以降の取り組みの変化**

1. 会社概要・事業概要

日本に安心・安全な木構造を普及させる。

日本に資産価値のある住宅を提供する仕組みをつくる。

日本に安心・安全な木構造を普及させる。

課題 1 : 日本の建築基準法では木造住宅は構造計算が義務化されていない。

建築基準法 第20条 4号特例

確認申請に構造計算が必要な建物

構造の種別	規模（階数または延べ床面積）
木造	<ul style="list-style-type: none">① 階数が3以上の建築物② 延べ床が500m²を超える建築物③ 高さが13mを超える建築物④ 軒の高さが9mを超える建築物



出所：新日本法規出版「確認申請MEMO」

地震で壊れない家をつくる。

当社独自の木造建築用の建築システム「SE構法」を開発

鉄骨造やRC造において主流だったラーメン構法を木造住宅に取り入れ、安全かつ便利に利用できるようにシステム化

SE構法による構造躯体と部材の接合部



SE構法の特徴

すべての建物に**構造計算**をおこなうこと

構造品質の高い**集成材**を採用していること

接合部に独自開発した**SE金物**を使用すること

集成材とSE金物により
高い耐震性と大空間が実現すること

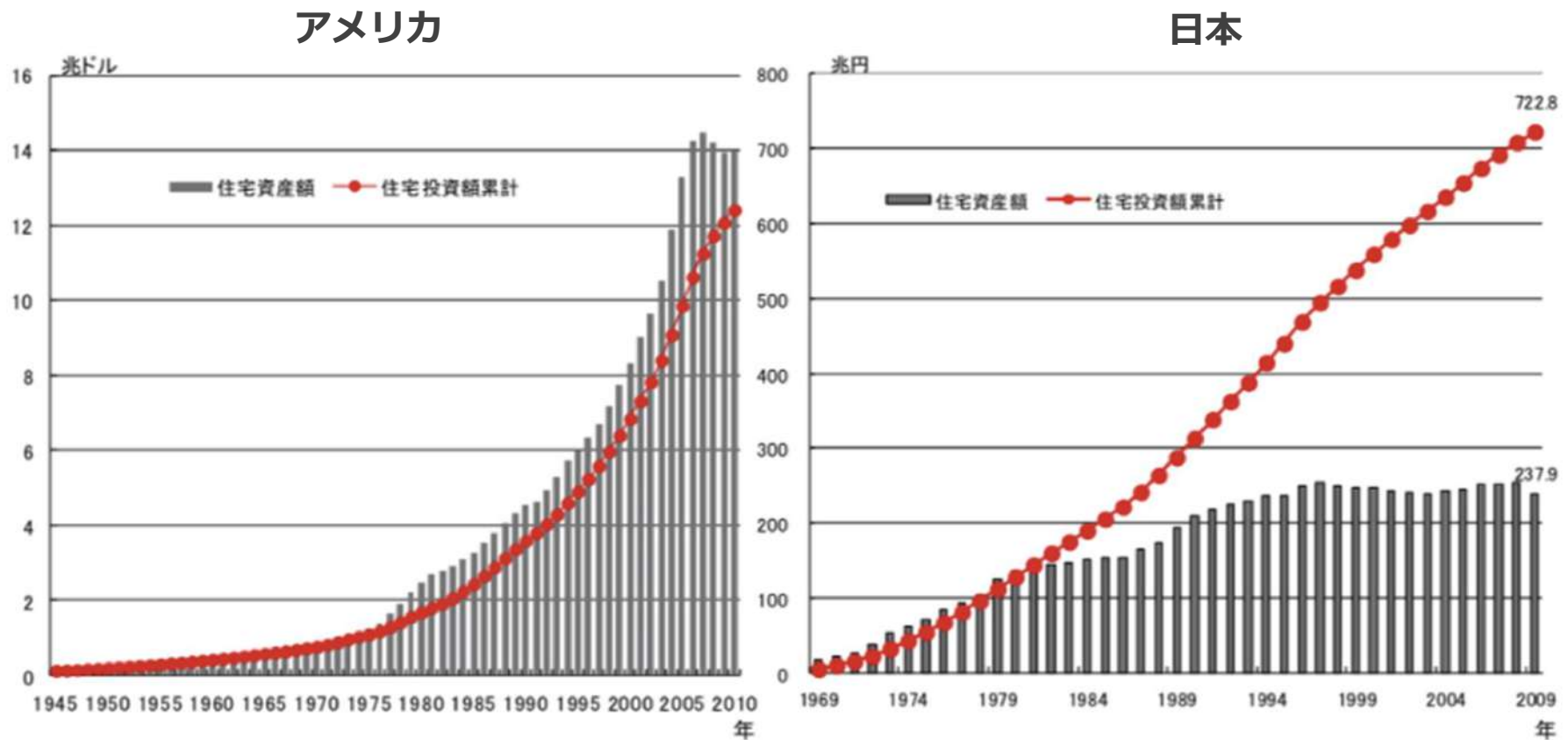
構造設計から部材供給・施工・検査・性能保証まで一括管理できるシステムであること

日本に資産価値のある住宅を提供する仕組みをつくる。



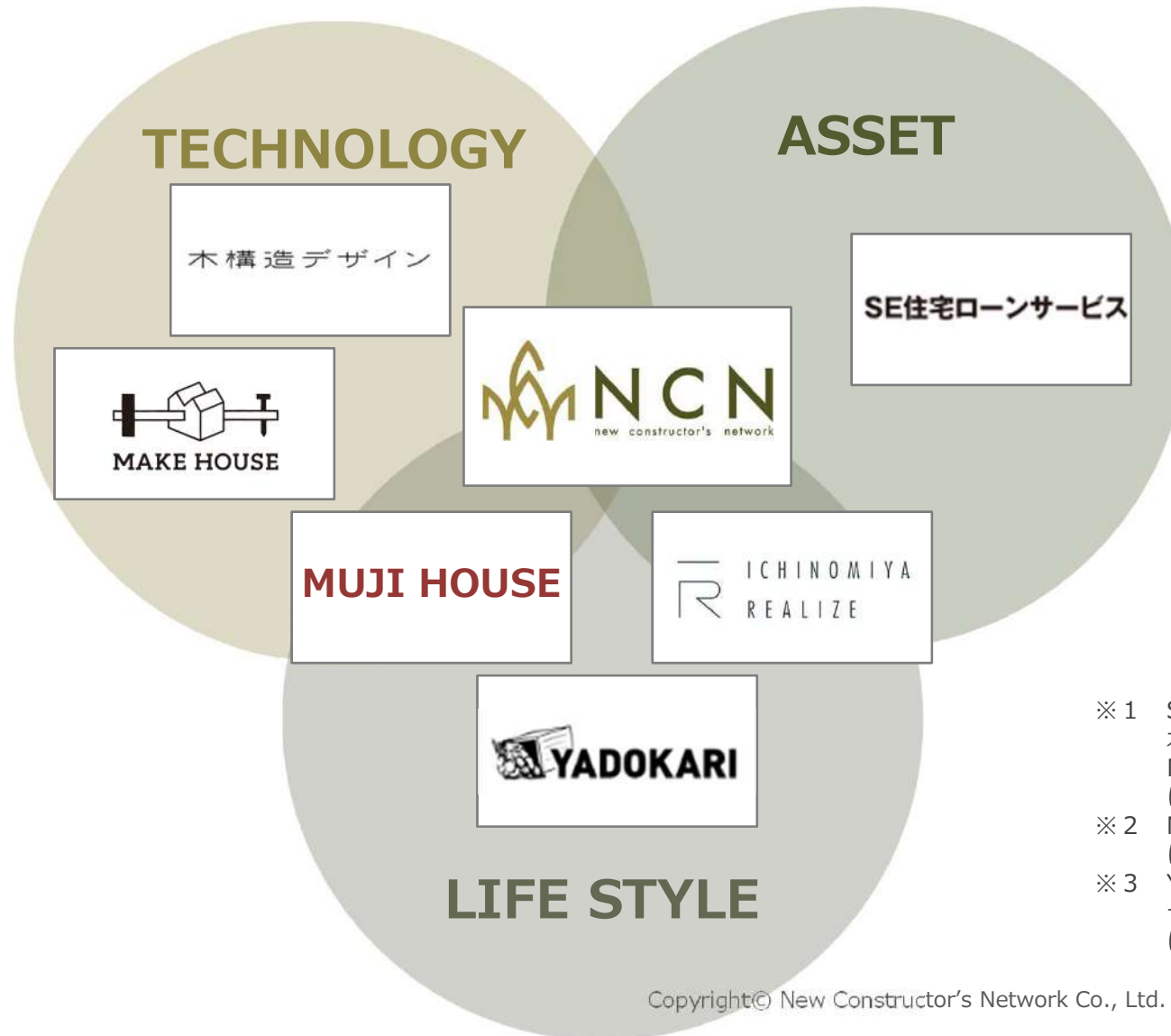
課題 2 : 日本の木造中古住宅は欧米に比べて再販価値が低い。

住宅投資累計額と住宅資産額



出所：野村資本市場研究所「我が国の本格的なリバース・モーゲージの普及に向けて」

当社グループの状況



- ※ 1 SE住宅ローンサービス
木構造デザイン
MAKEHOUSE
は連結子会社
- ※ 2 MUJIHOUSE
は持分法適用会社
- ※ 3 YADOKARI
一宮リアライズ
は出資先グループ

2. 業績ハイライト

2021年3月期 上期連結業績

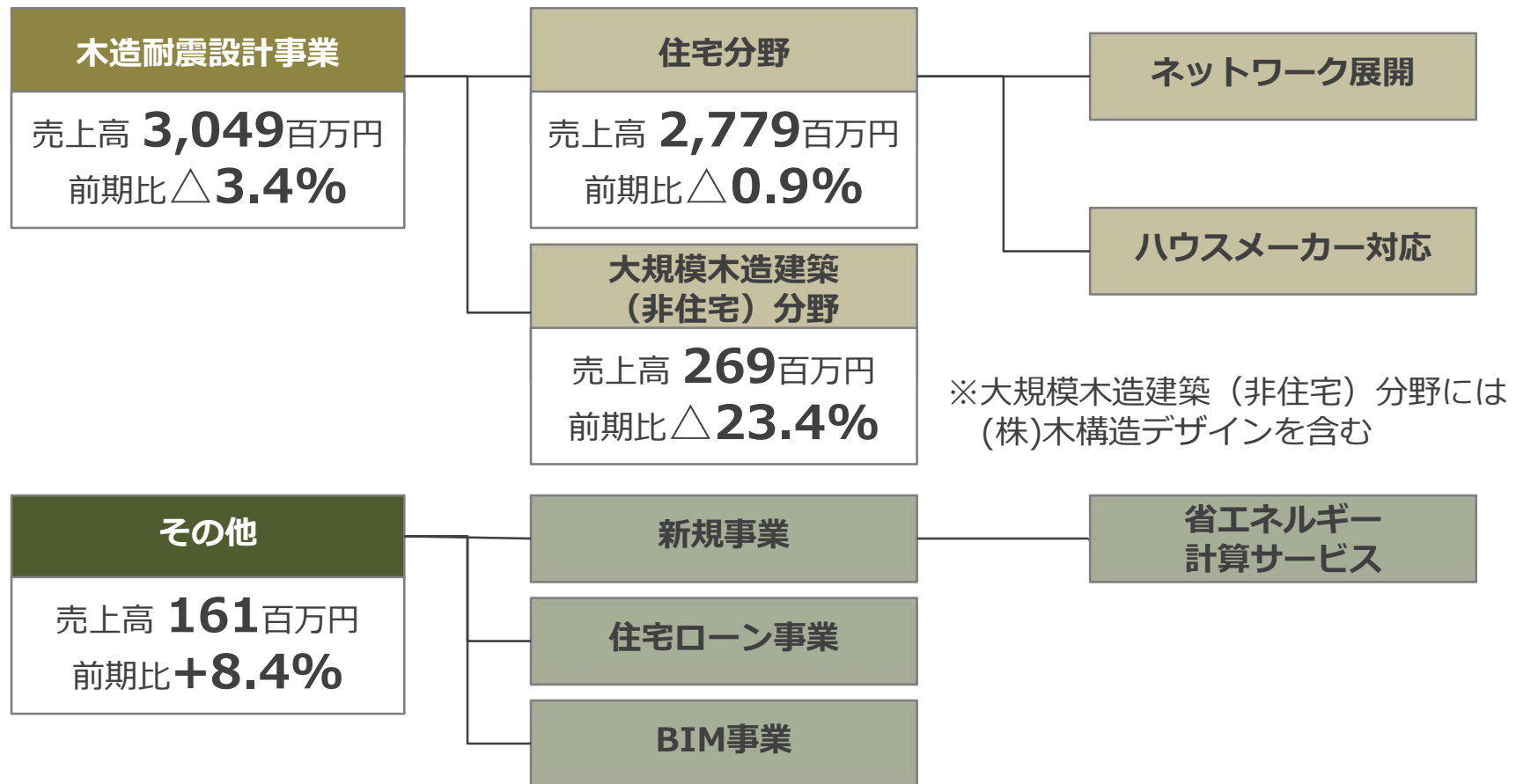


(百万円)	21/3期 上期	20/3期 上期	増減	増減率
売上高	3,211	3,306	△95	△2.9%
売上総利益	767	779	△12	△1.5%
営業利益	131	129	+1	+1.2%
経常利益	150	144	+6	+4.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	105	97	+7	+8.2%
1株当たり 当期純利益(円)※	32.65	30.19	+2.46	+8.1%

※ 1株当たり当期純利益の算出において分母となる期中平均株式数は、20/3期が3,198千株、21/3期が3,213千株となります。

事業セグメントとセグメント売上高

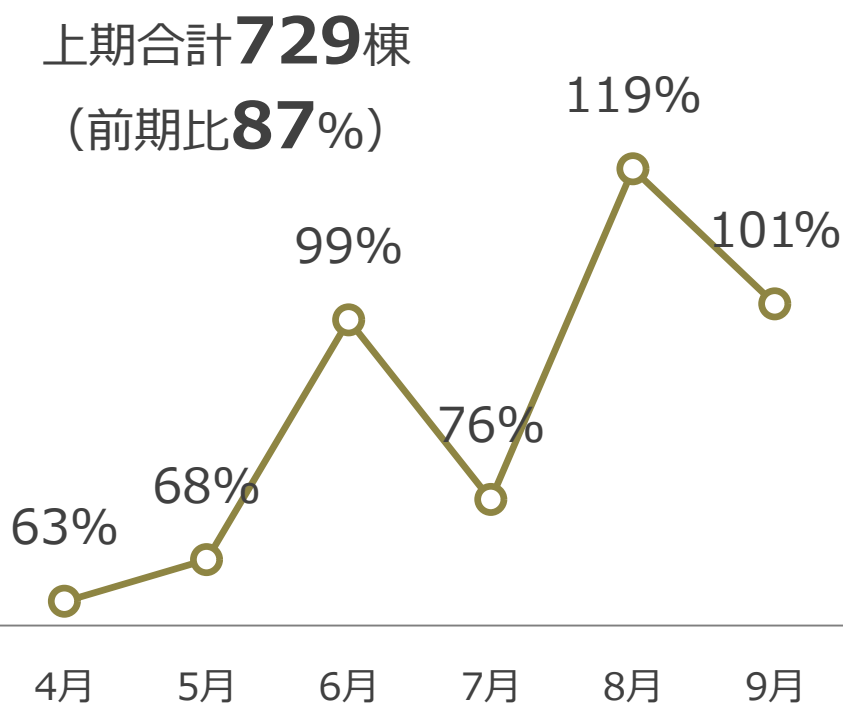
住宅分野は前年並みまで回復。一方、大規模木造建築分野は公共工事等の工期の遅れから△23.4%となった。



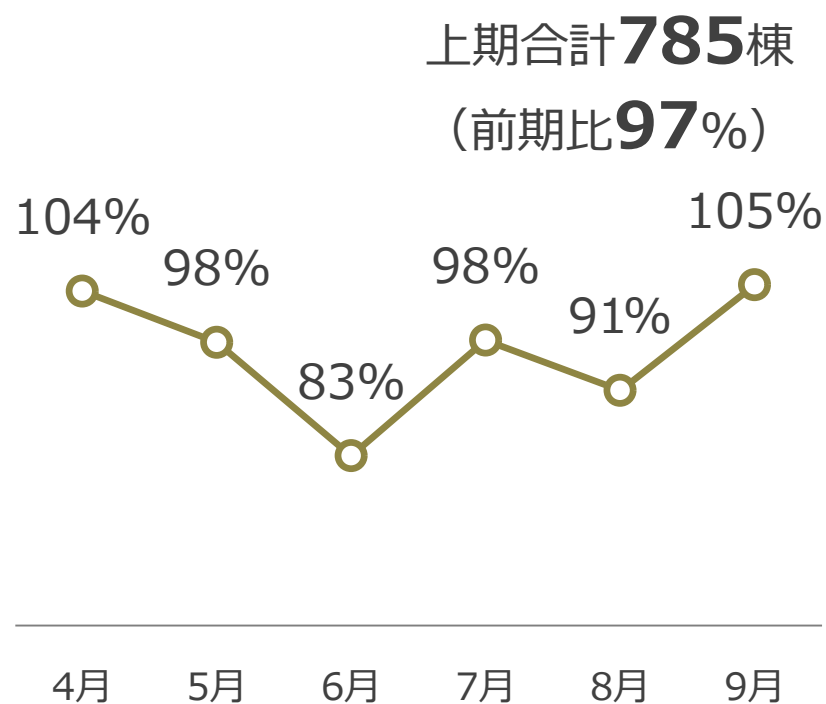
上期における新型コロナウイルスの影響

- 構造計算出荷数への影響は7月までで、8月以降は順調に回復。
- SE構法出荷数は前期比3%減にとどまり、ほぼ前年並みとなった。

構造計算出荷数の前期比推移



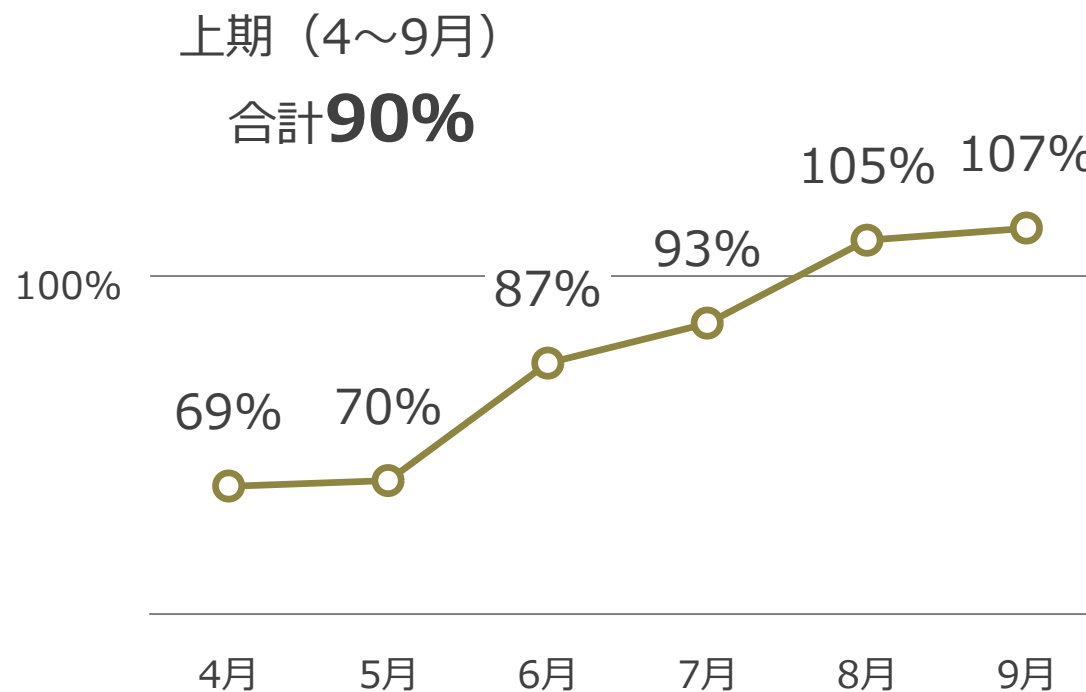
SE構法出荷数の前期比推移



【参考】住宅業界の受注動向

大手ハウスメーカーの受注状況も8月以降は前年を上回って推移しており、下期も回復傾向が続くことが推測される。

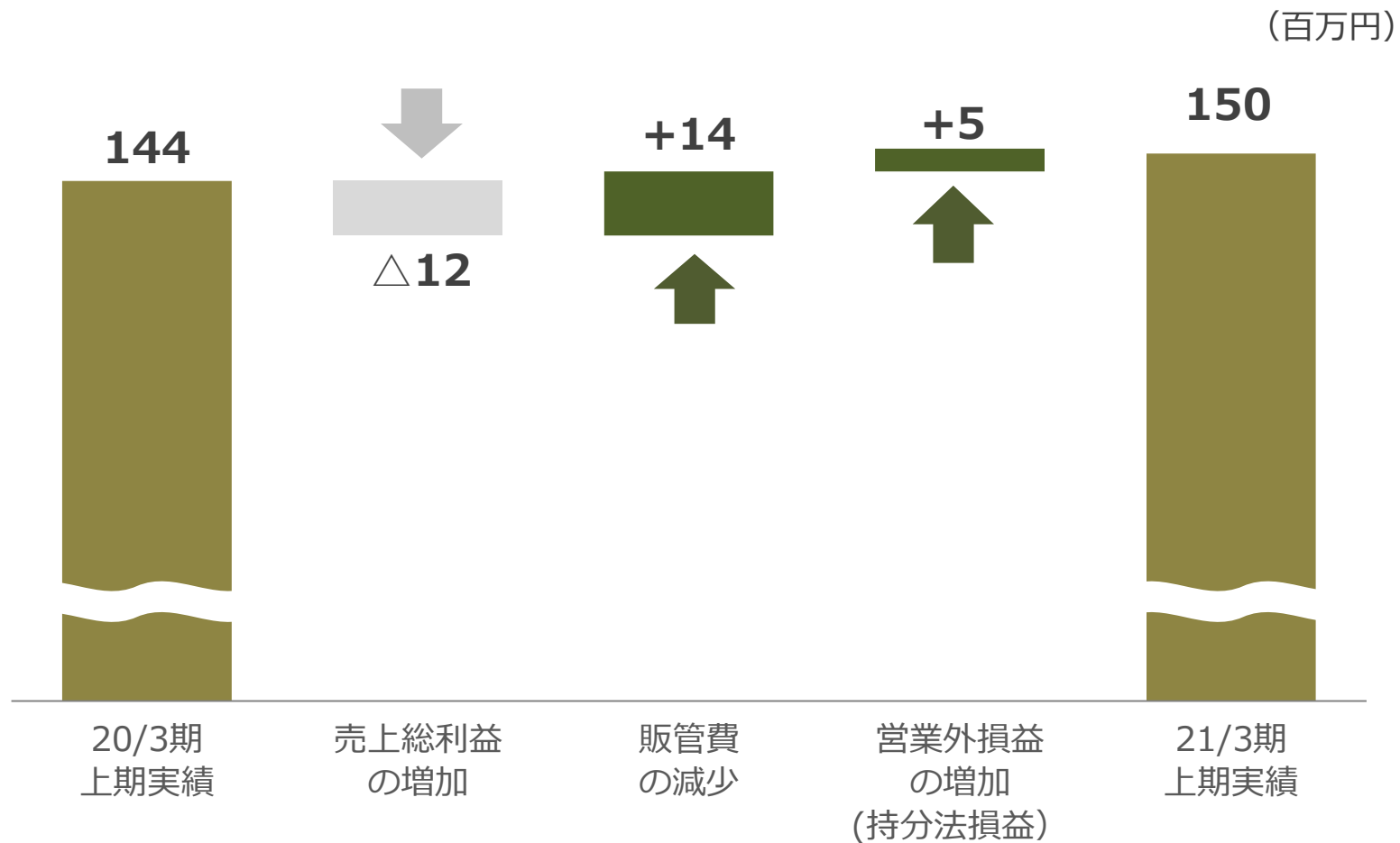
大手ハウスメーカー10社の受注伸率推移（棟数）



経常利益の増減要因



経常利益が前期を上回った主な要因は、販管費の減少、持分法損益の上振れ。



販管費の状況

- 販管費は、新型コロナウイルス感染症の影響により営業経費が前期に比べて減少したものの、従業員給与など人件費については減額をおこなっていない。
- Webツールの活用も含め、販促・広告宣伝等の営業施策は必要に応じて適切に実行している。

(百万円)	21/3期 上期	20/3期 上期	増減
販管費合計	636	650	△14
人件費	341	322	+19
営業経費 (旅費交通費等)	23	47	△24
販促費 広告宣伝費	71	61	+10
その他	201	219	△18

貸借対照表



(百万円)	21/3期 上期	20/3期	増減	
流動資産	4,203	4,043	+159	現金及び預金 +166 売掛金 △13 有償支給未収入金 +17
固定資産	691	669	+22	
資産合計	4,894	4,713	+181	
流動負債	2,361	2,215	+146	電子記録債務 +111 買掛金 △ 5 未払法人税等 + 13
固定負債	660	650	+10	
負債合計	3,022	2,865	+157	
資本金	390	390	+0	
資本剰余金	263	263	+0	
利益剰余金	1,188	1,167	+21	
その他	29	26	+2	
純資産合計	1,872	1,847	+24	
自己資本比率	37.4%	38.3%	-	
1株当たり 純資産額 (円)	569.31	566.19	+3.12	

CF計算書



	21/3期 上期	主な収入・支出 (百万円)
営業CF	280	<ul style="list-style-type: none">税引前当期純利益+140減価償却費+26仕入債務+105法人税等支払△21
投資CF	△ 31	<ul style="list-style-type: none">無形固定資産の取得△28
財務CF	△ 83	<ul style="list-style-type: none">配当金の支払△83
現金等の 期末残高	2,773	

3. 2021年3月期 連結業績見通し

2021年3月期 下期連結見通し

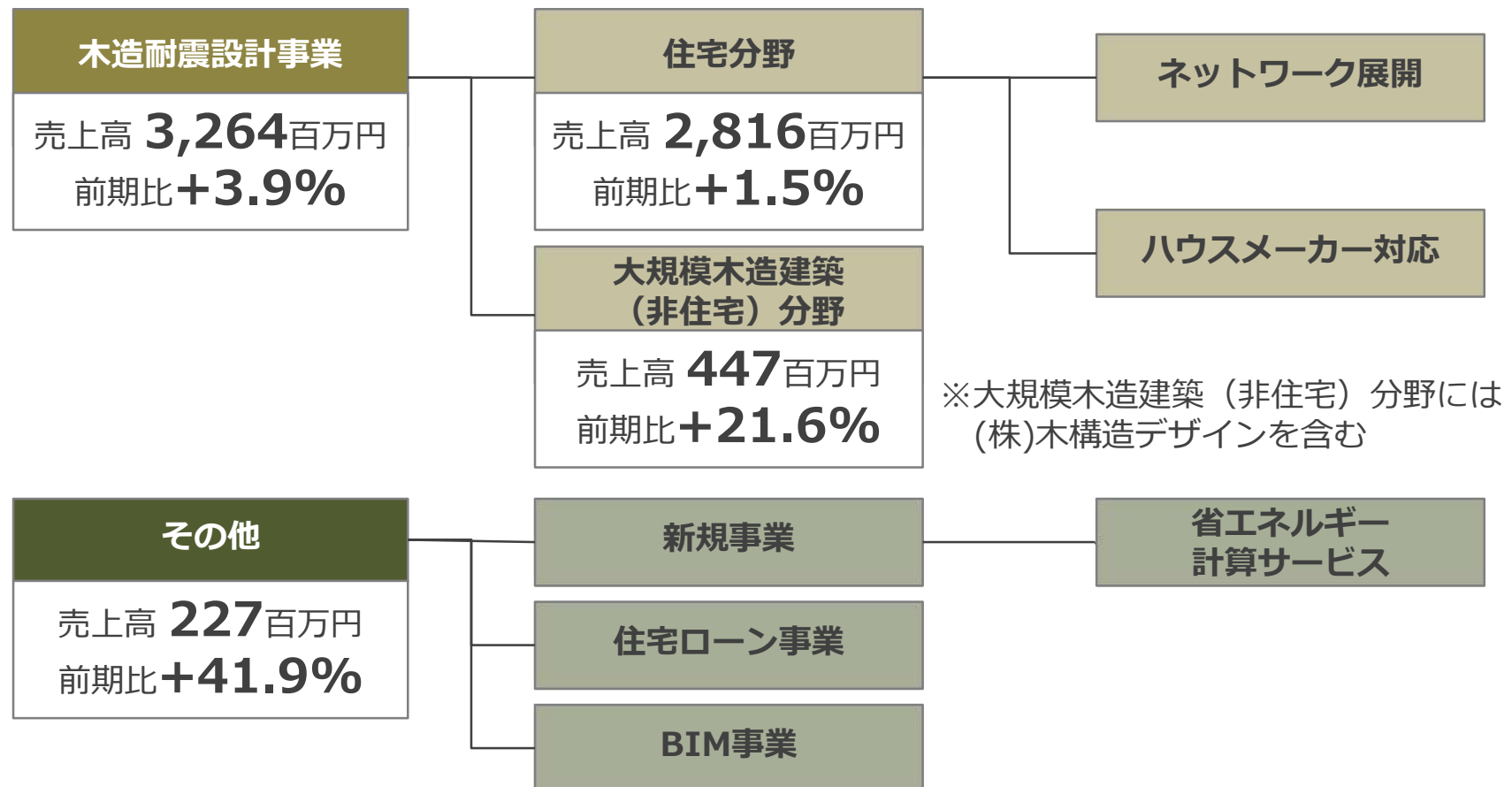


(百万円)	21/3期 下期見通し	20/3期 下期実績	増減	増減率
売上高	3,492	3,303	+188	+5.7%
売上総利益	904	771	+133	+17.3%
営業利益	128	100	+29	+28.6%
経常利益	143	114	+30	+26.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	100	84	+15	+18.2%

下期連結見通し 事業セグメントとセグメント売上高



住宅分野は前期比+1.5%、大規模木造建築分野は同+21.6%を見込む。

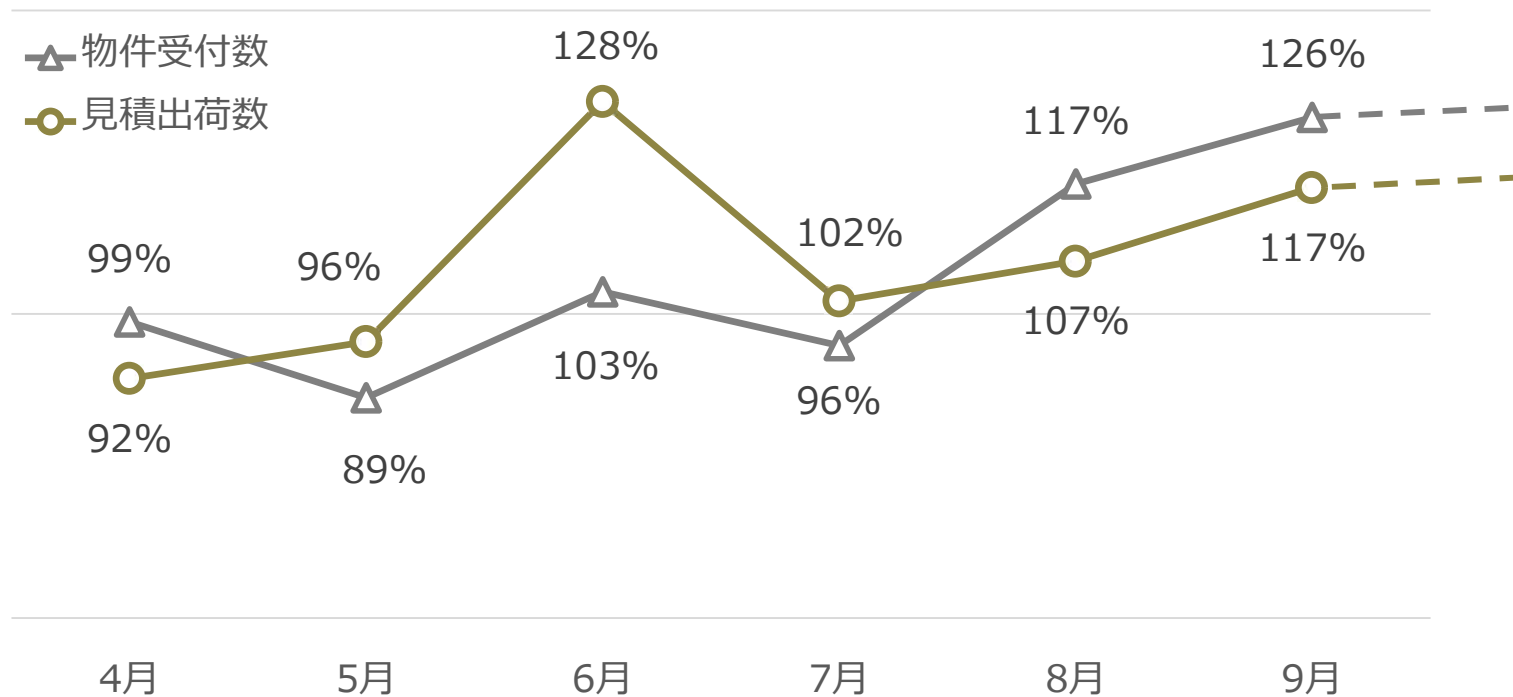


第3四半期以降における営業状況の見通し



構造計算の先行指数である物件受付数・見積出荷は高水準で推移しており、第3四半期以降も活発な受注活動が続いていることから、年間の売上高は前期比100%以上となる見込み。

物件受付数・見積出荷数の前期比推移



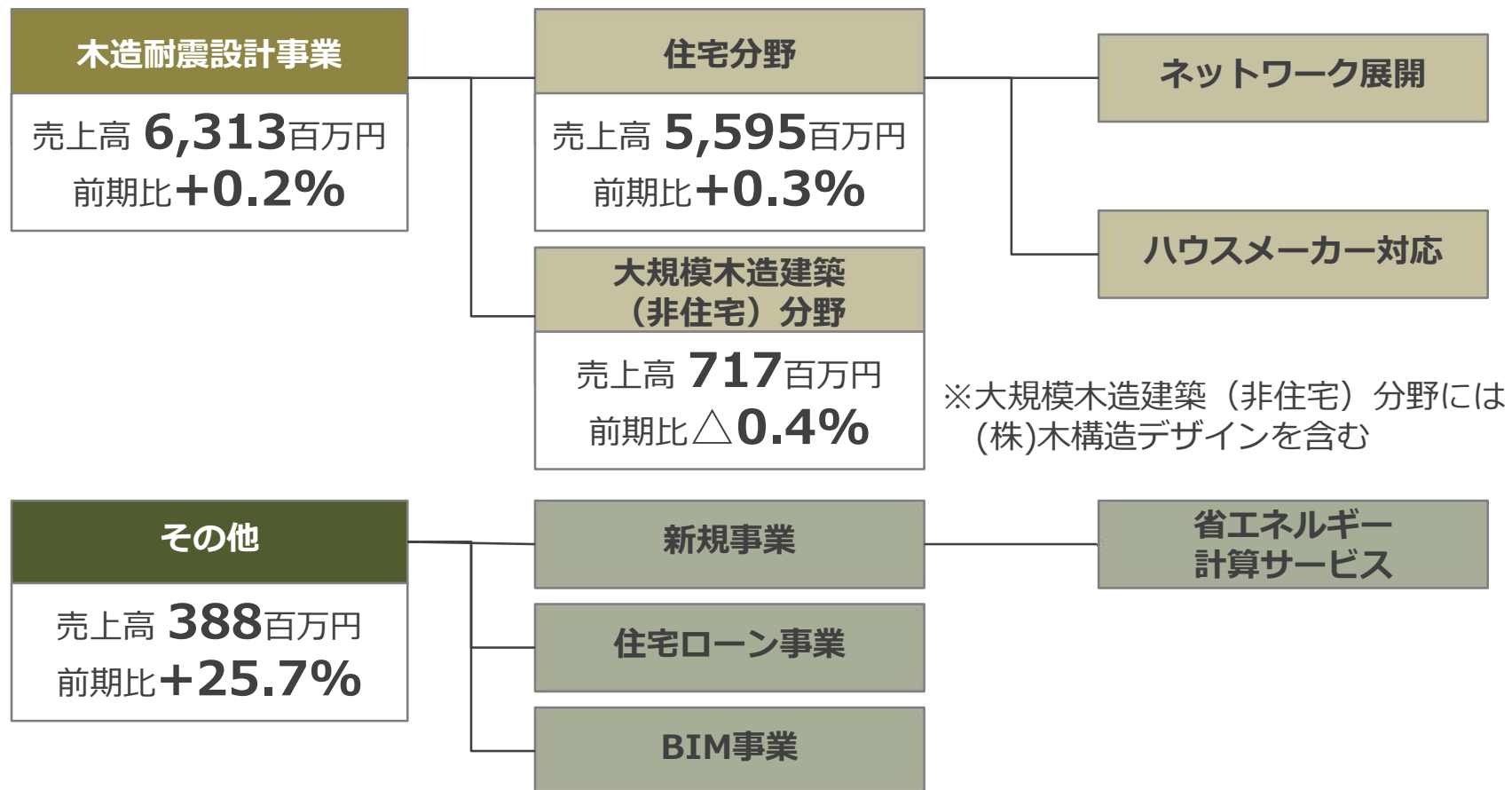
2021年3月期 通期連結見通し



(百万円)	21/3期 見通し	20/3期 実績	増減	増減率
売上高	6,702	6,610	+92	+1.4%
売上総利益	1,671	1,550	+121	+7.8%
営業利益	259	229	+30	+13.1%
経常利益	294	258	+35	+13.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	204	181	+23	+12.8%
1株当たり 当期純利益(円)※	63.73	56.62	+7.11	+12.6%
年間配当金	26.00	26.00	±0	—

※ 1株当たり当期純利益の算出において分母となる期中平均株式数は、20/3期が3,206千株、21/3期が3,213千株となります。

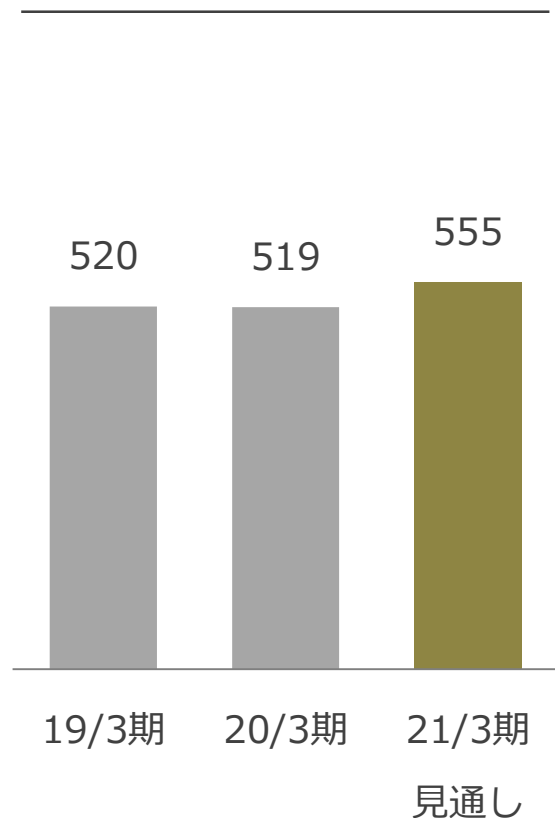
通期連結見通し 事業セグメントとセグメント売上高



KPIの推移

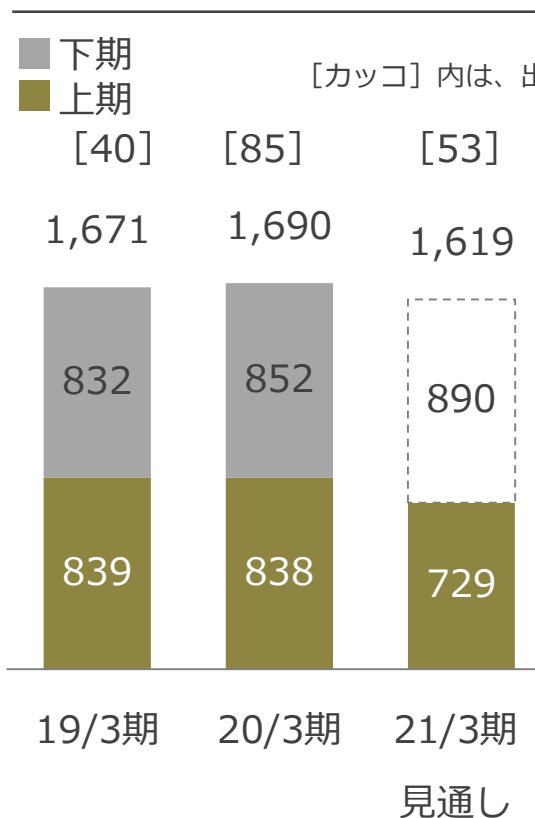


登録施工店数（社）



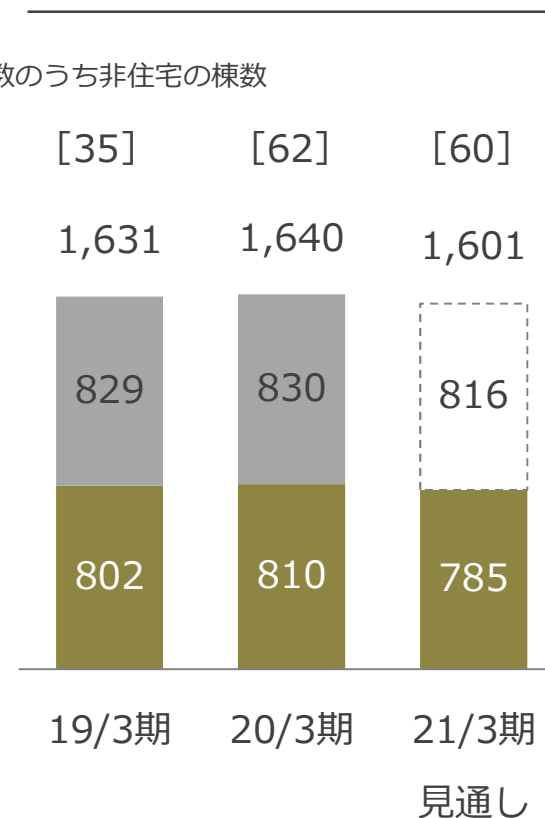
積極的な営業活動により登録店数は増加する見通し

構造計算出荷数（棟）



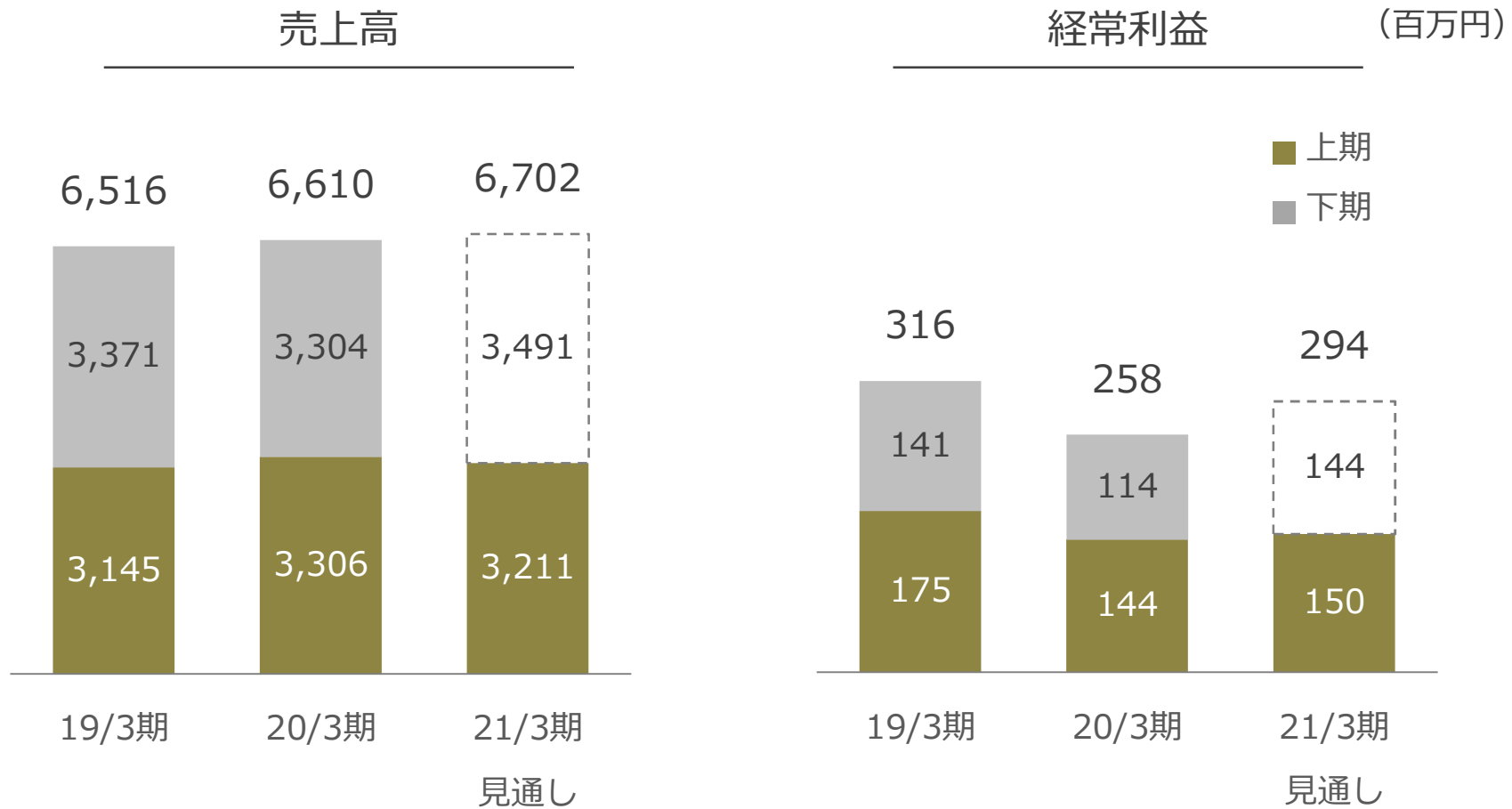
新型コロナの影響により、上期が停滞し13%減となったが、下期は前年を上回る見通し

SE構法出荷数（棟）



上期の構造計算出荷減の影響で、通期で△2.4%となる見通し

売上高・経常利益の推移



サービスメニューの増加により
売上増加

営業の効率化で増益を見込む。

新型コロナウイルスの影響まとめ (四半期別の状況)



	売上高への影響 (前期比)	新型コロナウイルスの影響と売上高の状況
1Q	△	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響でハウスメーカーの集客60%減、工務店の集客10%減 その影響で、住宅分野の構造計算出荷数が前期比35%程度減少
2Q	○	<ul style="list-style-type: none"> 住宅分野は前年並みに回復：前期比約0.9%減 大規模木造建築分野は工期の遅れ等で減少：前期比約23.4%減
3Q	○	<ul style="list-style-type: none"> 構造計算数が回復
4Q	◎	<ul style="list-style-type: none"> 前期を大幅に超える見込み。
通期	○	<ul style="list-style-type: none"> 通期では売上高は前期並みとなる見込み。

4. 2020年以降の取り組みの変化 -コロナによる変化とDX-

① コロナによる変化

- 集客の変化
- 非接触型営業への移行

② DX

- 性能の「見える化」

① DXの推進

- デジタル住宅展示場の展開
- 住宅性能シミュレーションのサービス拡充
- BIMへの需要拡大

② 木構造デザインの進捗状況

- SE構法以外の非住宅木造建築の構造計算への取り組み
- プレカット工場ネットワーク

①DXの推進 デジタル住宅展示場オープン

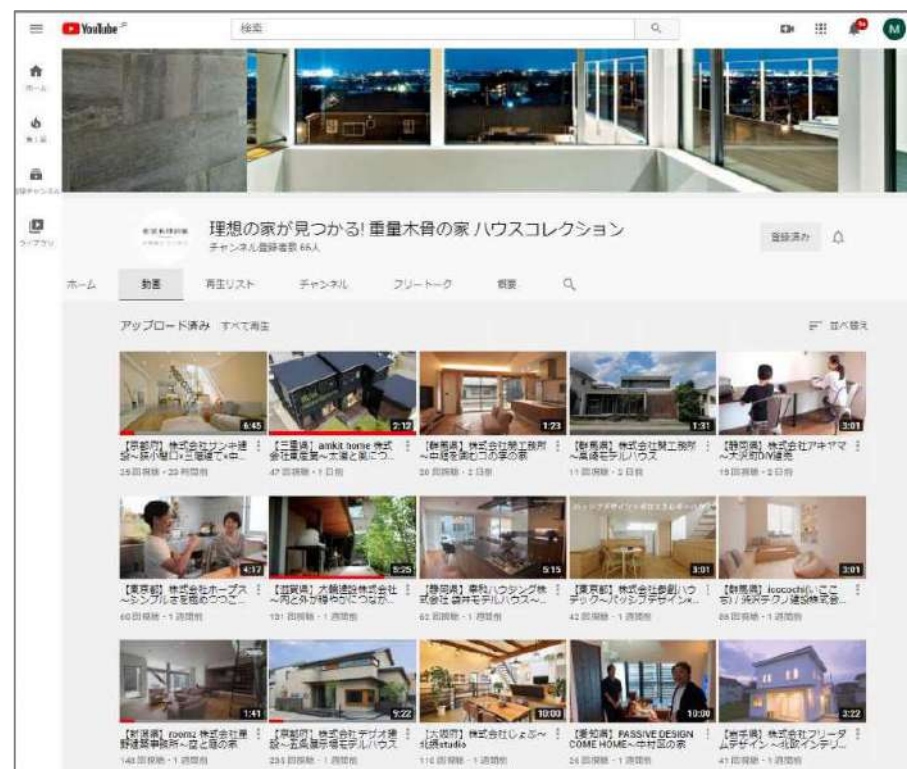


- 従来型の住宅総合展示場での集客・営業活動は制限されている。
- 「重量木骨の家」のモデルハウスや実例を集めたデジタル住宅展示場をオープンし、Withコロナ時代に適した新たな集客手法を展開。

従来型の住宅総合展示場



デジタル住宅展示場

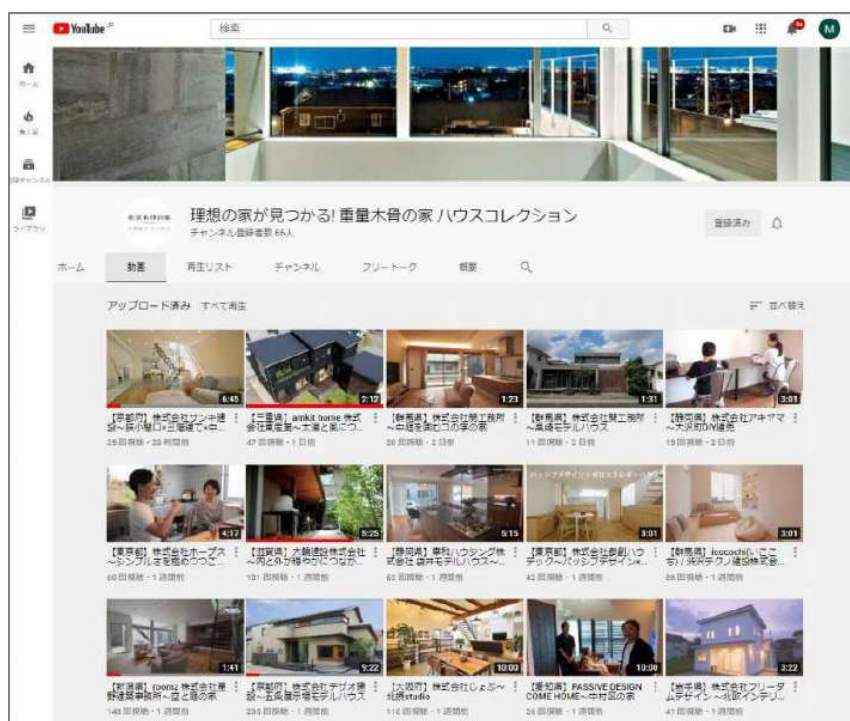


①DXの推進 デジタル住宅展示場のメリット



デジタル住宅展示場では、効率的な広告展開や再来場の促進ができるため、中小の工務店が大企業に対抗する施策を実施することが可能。

デジタル住宅展示場 『理想の家が見つかる！重量木骨の家 ハウスコレクション』



※視聴回数は「重量木骨の家ハウスコレクション」の10/19～11/16の平均値

デジタル住宅展示場のメリット

効率的な広告展開

- ・ 地域・性別・世帯年収など、特定のセグメンテーションに向けた広告展開

再来場の促進

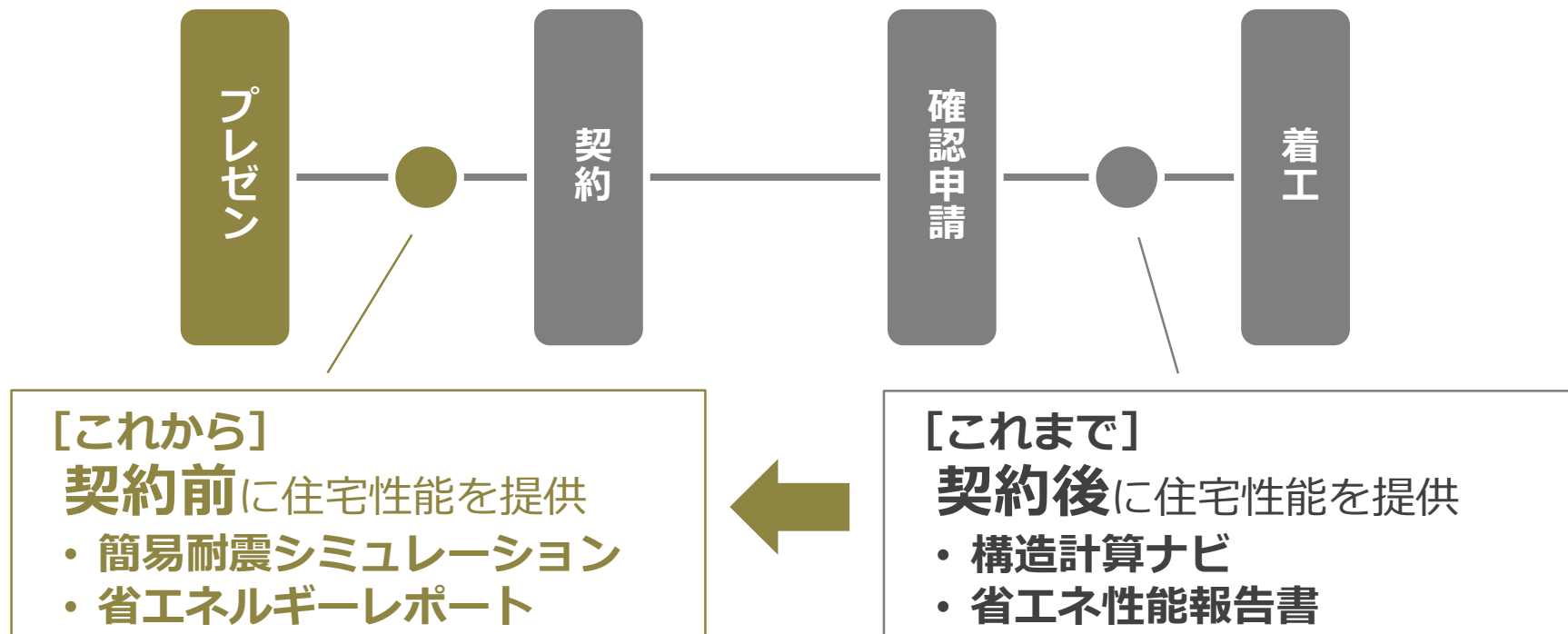
- ・ 新着動画がアップされる度にお知らせが届くため、再来場の促進が可能

来場者の増加

- ・ オープン以来1日あたり約4千回※視聴されており、一般的な住宅総合展示場の来場者（1日約700組）を上回る

①DXの推進 住宅性能シミュレーションのサービス拡充

- 住宅性能の「数値化」と「見える化」を実現するサービスを拡充し、登録店における成約率アップにつなげる。
- これまで「契約後の安心感」から「契約前の安心感」へ。



「技術革新」と「業務のスピードアップ」により実現

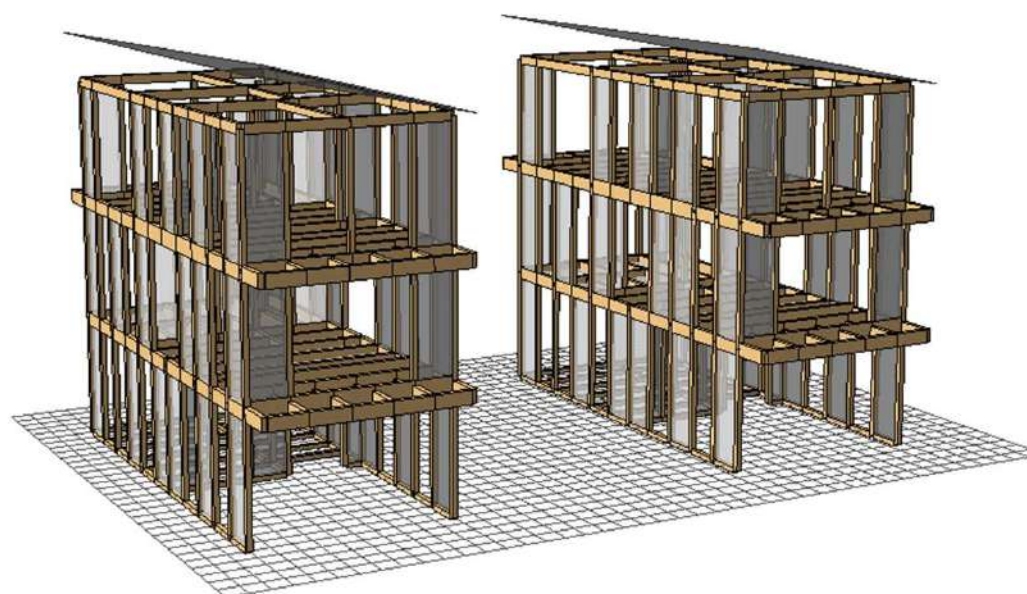
①DXの推進 耐震の見える化

wallstat※を活用した耐震シミュレーションにより、プラン提案時に住宅の耐震性能を見える化。

※ wallstatは、木造軸組構法住宅を対象とする倒壊解析ソフトウェア。住宅の倒壊解析に有効であるといわれる国内唯一のシミュレーションソフト。

SE構法

耐力壁・金物



在来工法

筋交い

①DXの推進 省エネ性能の見える化

省エネルギーレポートにより、プラン提案時に住宅の省エネ性能を見える化。

省エネルギーレポート（サンプル）

〇〇 様邸 省エネルギーレポート (6地域 東京都港区)
サンプル
〇〇工務店

あなたの家の外観

北側 東側 南側 西側

あなたの家の内観

1F 2F

省エネルギー基準

地域区分	基準値		あなたの家		あなたの家のコメント (基準値との比較)
	6地域	8地域	適合	不適合	
(代表的な都市)	東京	-	適合		
UA値	0.87	0.6	適合		基準値より31% 住宅の熱損失が少ないです
ηAC値	2.8	1.7	適合		基準値より35% 夏の日射取得が少ないです
ηAH値	-	2.9	基準値以上		-
BEI値	1	0.75	適合		基準値より25% エネルギー性能が高いです

あなたの家の断熱仕様

断熱部位	断熱工法	断熱仕様
天井	充填断熱	住宅用グラスウール16K 155mm
外壁	充填断熱	住宅用グラスウール16K 105mm
床	充填断熱	住宅用グラスウール32K 80mm
窓	サッシ	木製又は樹脂製
	ガラス	Low-E三層ガラス (日射遮蔽型)

あなたの家の設備仕様

設備部	設備仕様	設備仕様
暖冷房	LDK	高効率エアコン
換気	-	壁付換気扇
給湯	-	ヒートポンプ給湯機
照明	LDK	LED

省エネ基準の各指標の解説

① UA値
 ・ 数値が小さいほど「断熱仕様が平均的に良い」と見え、冬に外気から逃げていく熱（熱損失）が少ない。
 ・ 外壁、天井又は屋根、1階床の断熱材の性能や窓の性能、建物形状により、UA値が定まる。

② ηAC値
 ・ 夏の日射取得率の平均値。数値が小さいほど「日射遮蔽性能が良い」と見え、夏に外から入ってくる熱（日射熱取得）が少ない。
 ・ 「夏の涼しさ」を決める数値で、「床（基礎）以外の断熱仕様が良い」「窓に日除けの工夫がある」という建物ほど小さくなる。

③ ηAH値
 ・ 冬の日射取得率の平均値。数値が大きいほど「日射取得性能が良い」と見え、冬に外から入ってくる熱（日射熱取得）が多い。
 ・ 「冬の暖かさ」を決める数値で、「南面に窓が多い」「窓の日射取得性能が高い」という建物ほど大きくなる。

④ BEI値
 ・ 設計一次エネルギー消費量 / 基準一次エネルギー消費量にて計算され、数値が小さいほど「省エネルギー性能が高い建物」となる。
 ・ 数値を小さくするには、「建物の外気性能を良くする」「暖冷房する範囲を小さくする（特にLDKに繋がる空間を小さくする）」
 ・ 「省エネ設備を入れる」「給湯機を高効率給湯とする」「照明をLEDとする」などといった工夫が必要。
 ・ 設計一次エネルギー消費量：建物の一次エネルギー消費量、基準一次エネルギー消費量：地域や大きさなどによって国が定めた数値

取得可能な省エネ制度

省エネ制度	取得条件	取得可否
長期優良住宅認定制度 地震保険料 割引 住宅ローン 控除額延長 固定資産税 減額期間延長 登録免許税 税率引下	断熱等性能等級4 ※1※2	○
低炭素建築物認定 住宅ローン 控除額延長 登録免許税 税率引下	断熱等性能等級4 かつ 一次エネルギー消費量 等級5 ※3	○
フラット35S 金利Aプラン ※4 金利▲0.25% 10年間	一次エネルギー消費量 等級5	○
フラット35S 金利Bプラン ※4 金利▲0.25% 5年間	断熱等性能等級4 又は 一次エネルギー消費量 等級4	○

※1 長期優良住宅の認定基準4項目の内、「省エネルギー性に関する基準」についての適合を示す。
 ※2 地域区分ごとに定められる。UA値およびηAC値の基準値を満たしていることを指す。
 ※3 一次エネルギー消費量 等級5：BEI値0.8以下、一次エネルギー消費量 等級4：BEI値1.0以下を指す。
 ※4 2020.12.1時点での金利。

省エネ基準の各指標の解説 (断熱部位の概略図) (断熱工法の概略図)

※今回の計算結果は、指定時の室温に基づくものではありません。
Copyright © New Constructor's Network Co., Ltd. All rights reserved.

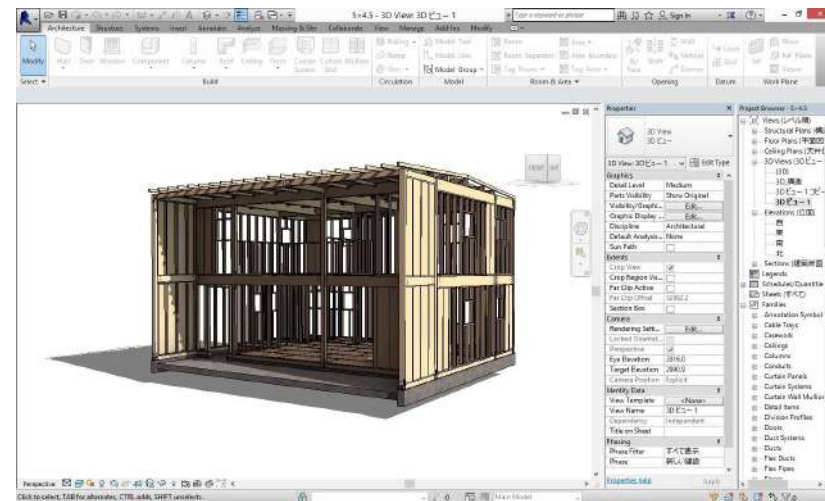
rights reserved. 35

①DXの推進 BIMへの需要拡大

- BIMを活用して建築設計から構造計算、部材加工までのDXを推進中。
- MUJI HOUSE物件において実証中で業界のトップランナーとして注目されている。

日刊木材新聞（2020年11月19日付）

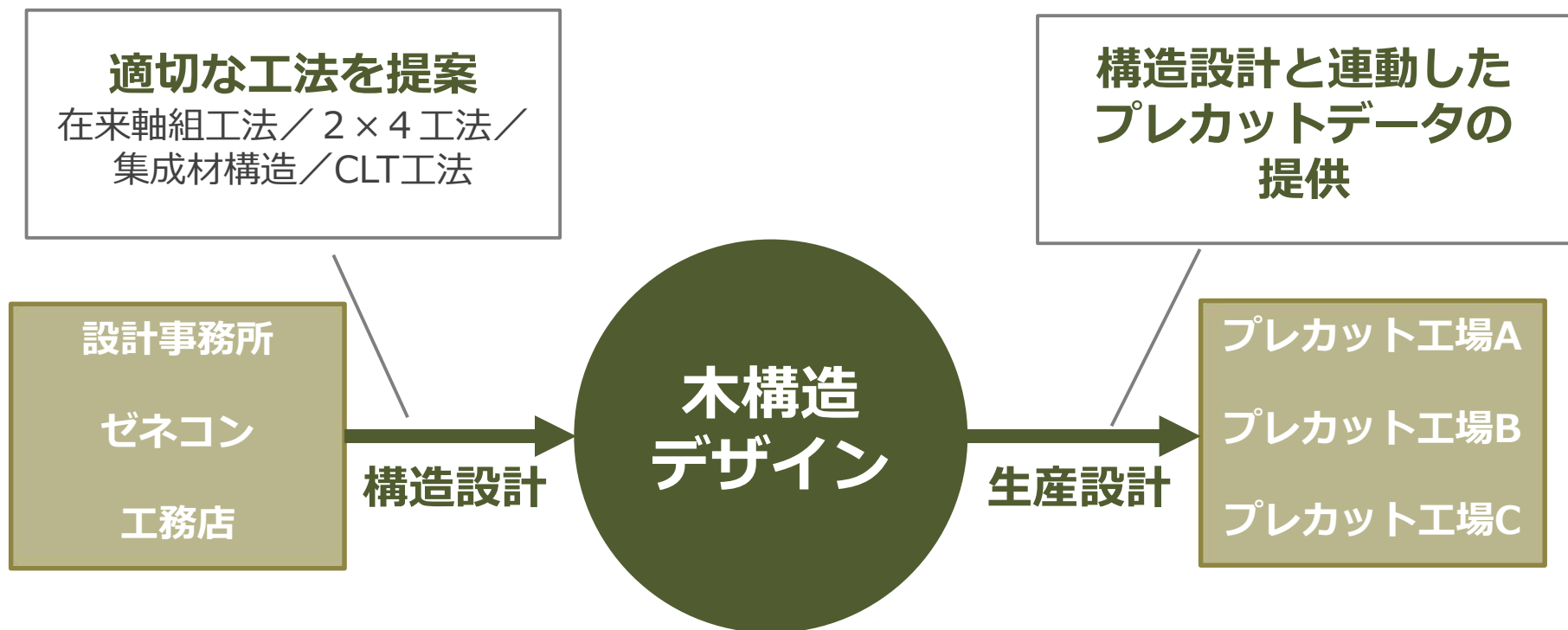
MUJI HOUSE（BIMイメージ）



②木構造デザインの進捗状況 大規模木造マッチングプラットフォーム事業の開始

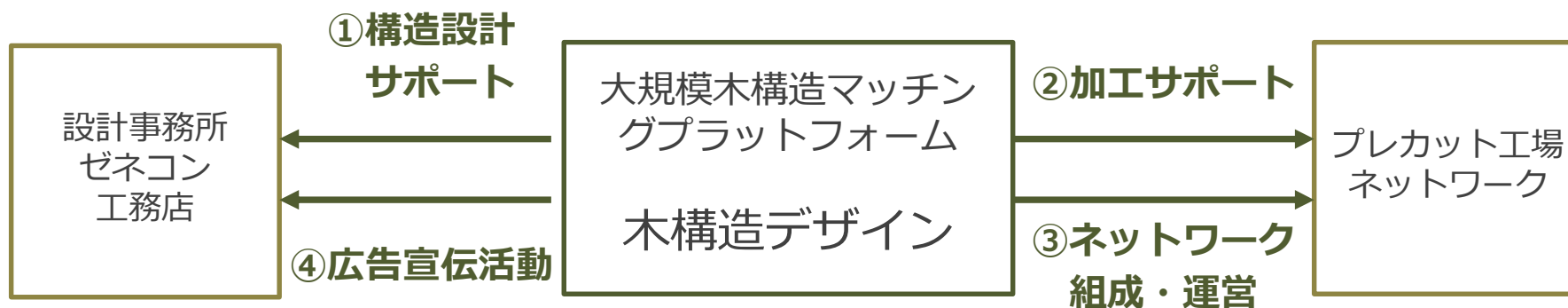


- 当社のノウハウを活用して大規模木造建築の構造設計から構造部材の加工・生産までワンストップで提供するマッチングプラットフォーム事業を開始。
- 構造設計サービスでは、建築物の用途規模等に応じて、SE構法に拘らない工法を提案し構造計算を実施。



②木構造デザインの進捗状況 サービス概要

木構造デザインにおいて、構造設計サポート、加工サポート、広告宣伝活動、そして安定した生産体制構築のためプレカット工場ネットワークの組成をおこない、大規模建築の木造化促進と市場シェア拡大を目指す。



① 構造設計サポート

- 構造相談／適切な工法の提案
- 構造チェック
- 構造概算見積資料の作成
- 構造計算

② 加工サポート

- 構造設計と連動したプレカットデータの作成 (ネットイージー社製CAD限定)

③ ネットワークの組成・運営

- 生産体制の整備
- 大規模木造建築案件の紹介

④ 広告宣伝活動

- プレカット工場の情報をまとめたポータルサイトの開設・運用

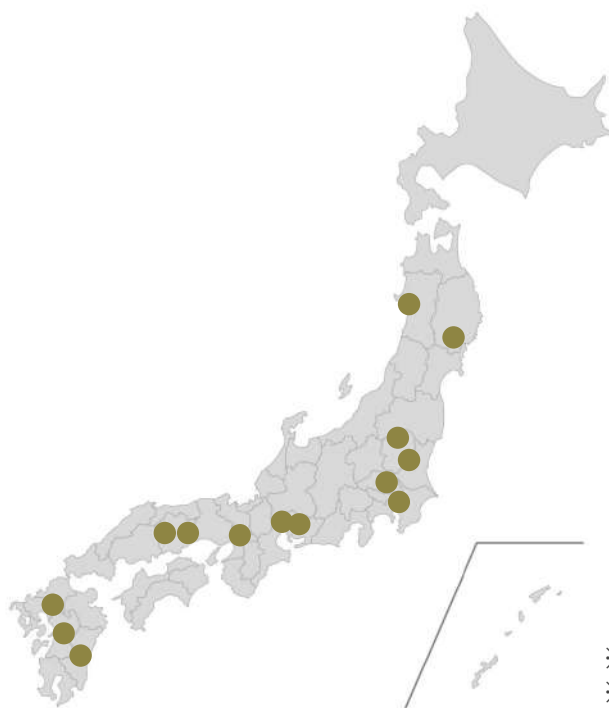
②木構造デザインの進捗状況 プレカット工場ネットワーク



- プレカット工場ネットワークは、3年後に100社の加入を目指す。
- 現在までに加入した14社の加工実績は、全国の年間加工実績の13%以上。

入会プレカット工場と加工実績

エリア	ネットワーク工場
東北	ティンバラム
	けせんプレカット
関東	ハイビック
	タツミ
	ランバーテック
	三井ホームプレカット
中部	セブン工業
	山西
関西	岡本銘木店
中国	銘建工業
	院庄林業
九州	ワイテック
	原田木材
	ランバー宮崎



年間加工実績^{※1}
合計 **171**万坪

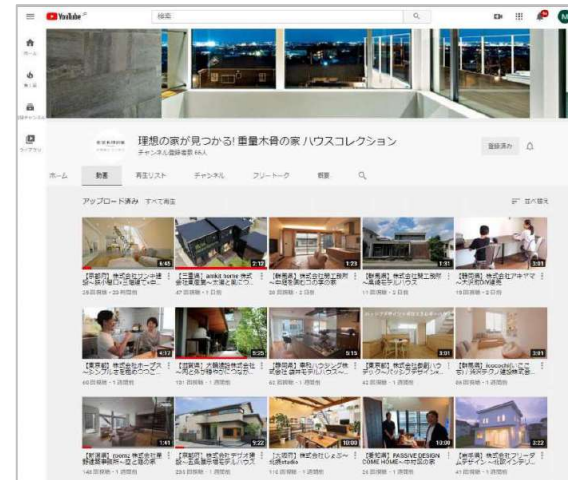
全国の加工実績に占める割合^{※2}
13%以上

※1 各社の加工実績は当社調べ

※2 全国の年間加工実績（約1,300万坪）は、
新設住宅着工数に住宅1棟あたりの平均坪
数を乗じて当社で算出

住宅業界のパラダイムシフト

「総合住宅展示場」から「デジタル住宅展示場」へ



「二次元」から「三次元」へ



Copyr

s reserved.

市場の変化

集客のデジタル化

住宅性能の数値化・見える化

設計・施工プロセスのDX

木造建築市場は
住宅から非住宅分野へ拡大

当社の対応

デジタル住宅展示場オープン

住宅性能シミュレーション
サービスの拡充

BIMソリューションの強化

大規模木造マッチング
プラットフォーム事業の開始

『最も強い者が生き残るのではなく、
最も賢い者が生き延びるのでもない。
唯一生き残ることが出来るのは、
変化できる者である。』

チャールズ・ダーウィン

Stay Home at 耐震住宅

日本の
家を
100%
耐震に。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、本資料に記載した連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期やその影響の範囲等は大きく変動する可能性があります。当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

(本資料中の画像について)

本資料中の画像には、実物の写真のほか完成イメージ図が使用されています。